

さくら



令和5年10月23日(月)

禅寺の小僧



臨済宗妙心寺にまつわる有名な話があります。ある日、雨が降りました。建物が古くなっていた妙心寺では、ひどい雨漏りになりました。

初代住職の関山慧玄(かんざんえげん)禅師は、小僧たちに命じました。「何か雨漏りを受ける物を持ってこい」

小僧たちは、それぞれに雨水を受ける物を探しにいきました。最初に帰ってきた小僧は、手にざるを持っていました。その後、他の小僧たちも桶などを持って帰ってきました。ざるで雨水を受けても、何の役にも立たないことは誰が考えても分かります。後から帰ってきた小僧たちは、ざるを持ってきた小僧を口々にばかにしました。

その時、慧玄禅師は言葉を発しました。「よくやった、これを待っていたんだ」この言葉を聞いた小僧たちは、一様に驚いたことでしょう。慧玄禅師は、どうしてざるを持ってきた小僧を褒めたのでしょうか。おそらく、ざるを持ってきたことを褒めたのではなく、何かをしなければならないと、とっさにざるを掴んだその行動を褒めたのではないかと思います。

物事を解決するには、熟慮して行動を起こさなければならないこともあります。しかし、後のことを考えず、目の前にあることに全力で取り組むことがとても大切な時もあるのです。結果は後からついてきます。

皆さんは、連日、体育大会に向けて練習に励んでいます。明日の1、2限目には全体練習があります。行進、ラジオ体操、校歌斎唱、競技、演技、いずれについても全力で頑張りましょう。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

